

厳格かつ適正な成績管理の実施について

(1)成績評価の方法

履修した授業科目については、試験の上、所定の単位が与えられます。

(試験は筆記・論文・口述・実技等によって行われ、その詳細は各授業科目のシラバス等により公表します。)
シラバスは、本学ホームページで公開されています。

<https://unipa.tokyo-ondai.ac.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml?guestlogin=Kmh006>

(2)成績評価の基準

点数	評語	内容	G P	判定
90～100 点	A ⁺	学修の成果が到達目標を十分に達成し、特に優れた成績をおさめている。	4	合格
80～89 点	A	学修の成果が到達目標を十分に達成し、優れた成績をおさめている。	3	
70～79 点	B	学修の成果が到達目標を達成している。	2	
60～69 点	C	学修の成果が到達目標を最低限達成している。	1	
単位認定等	P	単位認定された科目及び合格と認められた科目	対象外	
59 点以下	F	学修の成果が到達目標を達成していない。	0	不合格
評価外	X	成績評価の条件を満たしていない。	0	

(3)GPA 制度

学修の到達度を明確にし、学生が自らの学修目標を設定しやすくするとともに、国際的な成績基準に対応することを目的として、GPA (Grade Point Average) 制度を導入しています。

GPA は、「学期 GPA」「年度 GPA」「累積 GPA」に区分し、下記のように算出します。

①当該学期または当該年度の GPA の計算式

$$\frac{(\text{当該学期または当該年度の「A+」の単位数} \times 4 + \text{「A」の単位数} \times 3 + \text{「B」の単位数} \times 2 + \text{「C」の単位数} \times 1)}{\text{当該学期または当該年度の総履修登録単位数}}$$

②累積 GPA の計算式

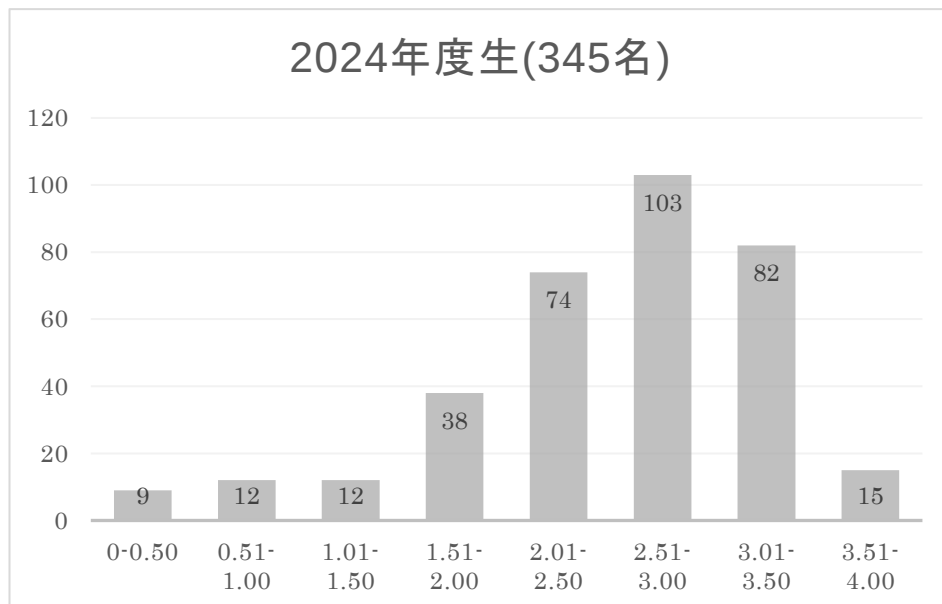
$$\frac{(\text{全在学期間の「A+」の単位数} \times 4 + \text{「A」の単位数} \times 3 + \text{「B」の単位数} \times 2 + \text{「C」の単位数} \times 1)}{\text{全在学期間の総履修登録単位数}}$$

(4)GPA の有効活用

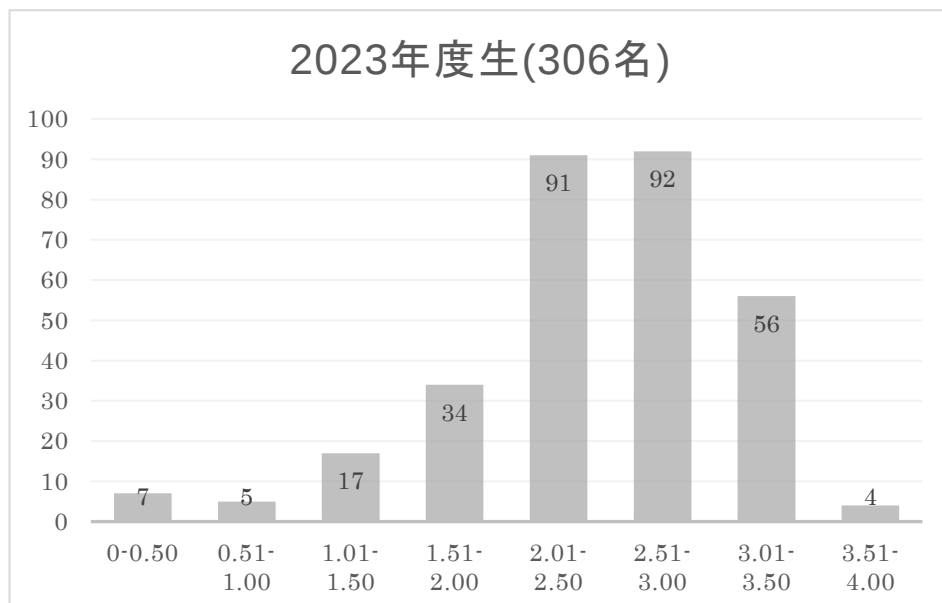
- ①学修支援、学修指導、学修成果・教育成果の把握・可視化に関すること
- ②奨学金授与、学生の表彰に関すること
- ③交流大学単位互換科目の履修選考基準として
- ④教職課程の履修可否の基準として（前年度 GPA が 1.80 未満の学生は教職課程履修不可）
- ⑤学修指導面談・退学勧告の基準として（学修指導面談：3 学期連続 GPA1.00 未満で実施。
退学勧告：4 学期連続 GPA1.00 未満の場合、教務委員会での審議を経て書面にて実施。）

【2024 年度 GPA 分布図（※休学者を除く）】

- ①学生及び保証人は、学修状況の客観的把握のために、教学システム UNIPA より GPA と成績評価を年度学期ごとに確認できます。また、本紙は本学 WEB サイトに掲載されます。
- ②学生全体の成績動向周知のため、前年度 GPA 分布図を教務委員会及び教授会で配布します。

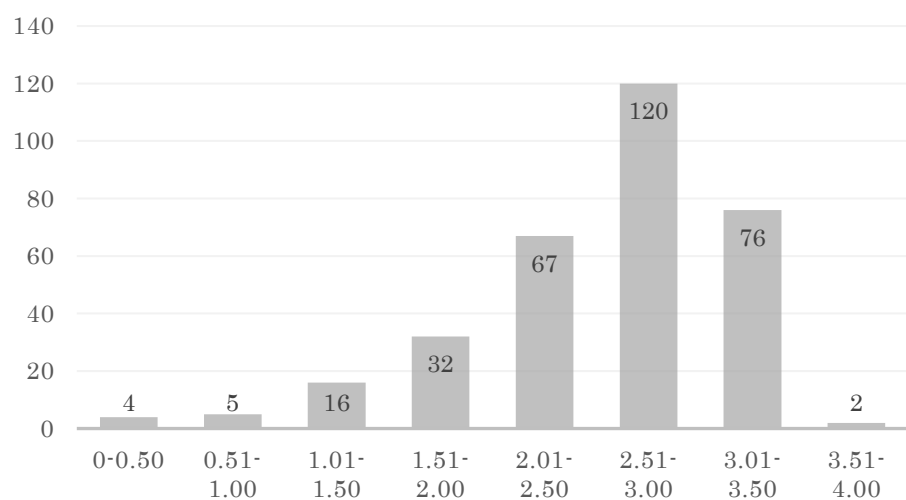


平均 GPA	2.52
下位 1/4 GPA	2.11



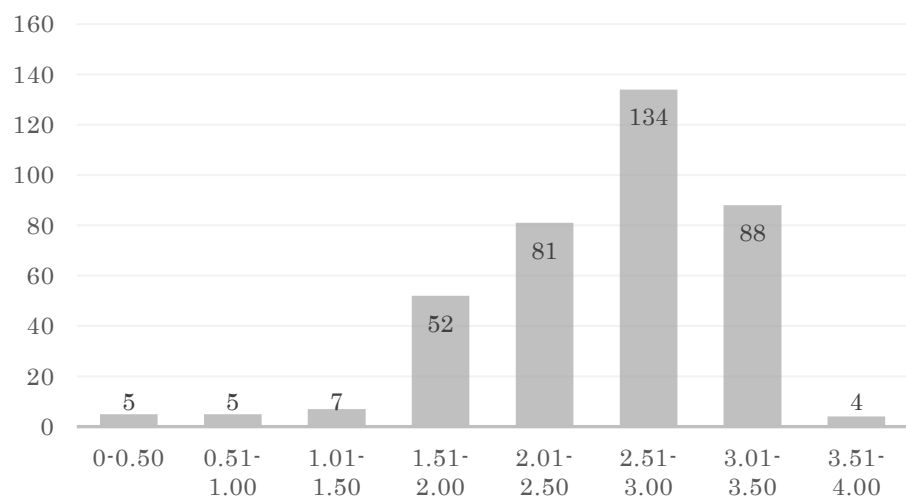
平均 GPA	2.42
下位 1/4 GPA	2.10

2022年度生(322名)



平均 GPA	2.57
下位 1/4 GPA	2.22

2017-2022年度生(376名)



平均 GPA	2.59
下位 1/4 GPA	2.22

(5)修得単位不足者に対する注意喚起

修得単位数が下記の基準以下の学生の保証人に対し、毎年度始めに「注意喚起」を行います。

- ①1年次生：30単位以下（在学期間：12ヶ月）
- ②2年次生：60単位以下（在学期間：24ヶ月）
- ③3年次生：90単位以下（在学期間：36ヶ月）